

HiKOKI

取扱説明書

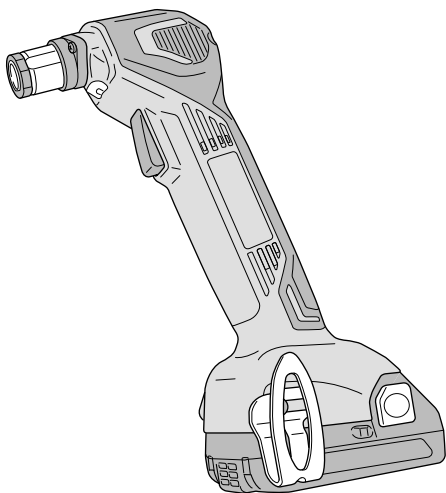
用途

- 構造材 (SPF材・杉) や合板への釘打ち作業
- 接合用金物の釘止め作業

コードレスばら釘打機

18V NH 18DSL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	10
各部の名称…	12
仕様…	12
標準付属品…	13
別売部品…	13

使い方

ご使用前の点検・準備…	15
蓄電池（別売部品）の 取付け・取りはずし…	16
スイッチについて…	16
釘を打つ…	17
釘の打ち方…	18
作業上のご注意…	20
フックの使い方…	21

その他

保守・点検…	22
ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。
また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体・ガスがある所での使用、充電、保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて連ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスばら釘打機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

作業前

① 保護メガネを使用してください。

- 作業中は、保護メガネを使用してください。
- 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。
木材の破片や、打ち損じの釘が目に当たると、けがの原因になります。

①



② 騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。

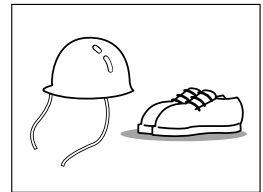
③ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。

④ きちんとした服装で作業してください。

⑤ 蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。

- ねじがゆるんでいないこと。
- 釘ガイドの先端を木材などに押し当て、ガイドが確実に動くこと。
異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

③



⑥ 蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。

- 釘ガイド内に釘が入っていないことを確認してください。
誤って釘が発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- 釘の出口は下に向け、射出口付近に人体、手足がないことを確認してください。
- 釘ガイドの先端を台や床などに載せないでください。

⑦ 使用前に蓄電池を取付け、次の点検をしてください。

- 蓄電池を取付けただけで、モーターなどの作動音がしないこと。
- 釘ガイドを対象物からはなした状態でスイッチを入れたとき、異常音がしないこと。
異常があるまま使用すると、事故やけがの原因になるので、異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑧ 用途にあった作業に使用してください。

この機体は、木材または類似の材料への釘打ち作業を目的とした工具です。指定された用途以外には使用しないでください。

⚠ 警告

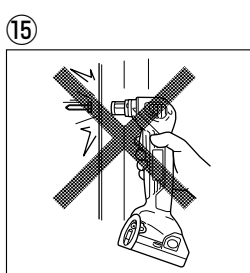
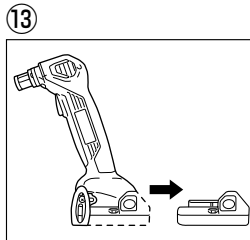
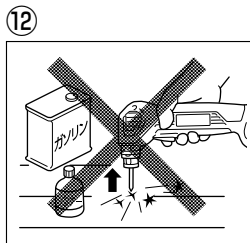
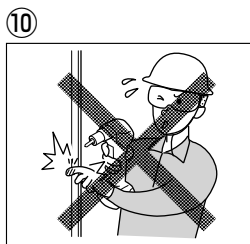
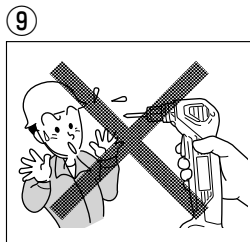
- ⑨ 指定の釘を使用してください。
指定された釘以外の物を使用すると、けがや機体の故障の原因になるので使用しないでください。
- ⑩ 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、工具本体に触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑪ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- ⑫ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

作業中

- ① 釘の装てんは、慎重に行ってください。
釘を釘ガイド内に装てんするときは、釘の先端を持たずに軸を持ってください。
誤って指に打つ恐れがあり、けがの原因になります。
- ② 釘を打つとき以外は、釘を釘ガイドに装てんしないでください。
誤って釘が発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ③ 釘を打つときは、釘の先端を確実に打ち込み対象物に押し付けてください。
確実に押し付けないと、釘がはね返る恐れがあり、けがの原因になります。
- ④ 指で釘を保持して打ち込むときは、次のことに注意してください。
釘を打つ順序は、釘の先端を打ち込み対象物に当て、その後、釘ガイドの中に釘頭を入れてください。
確実に当てていない場合や、釘頭を先に釘ガイド内に入れると、釘がはね返ったり、誤って作動し釘が発射した場合、けがの原因になります。
- ⑤ 接合金物への釘止め作業は、釘の先端が必ず接合金物の穴に入ったことを確認してから打ち込んでください。
釘がはね返る恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑥ 本機を金づち代わりに使用しないでください。
- ⑦ 長時間の釘打ち作業は避けてください。
本機での釘打ち作業はできるだけ短時間にしてください。また連続作業は避け、間に適当な休止時間を設けてください。
- ⑧ 使用中は、工具本体を確実に保持してください。

警告

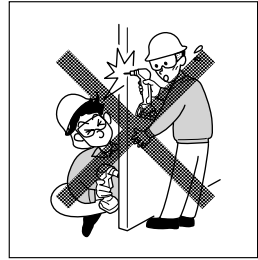
- ⑨ 人体に射出口を向けないでください。
人体に射出口を向けて、誤って発射した場合、思いがけないけがにつながります。
- ⑩ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
誤って釘が発射したり、はね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ⑪ 釘を打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。
釘が突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。
- ⑫ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で、蓄電池の着脱や工具本体を使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑬ 次の場合は、蓄電池を工具本体からはずしてください。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後。
 - 点検・修理・調整、釘づまりの直しなどの場合。
 - 工具本体を移動する際や手渡しする場合。
誤って作動する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑭ 作業中は周りの人に注意してください。
- 木材・釘の破片や、打ち損じた釘が当たる恐れがあり、けがの原因になります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことを良く確かめてください。
機体や材料などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑮ 薄い板や木材の端に釘を打たないでください。
薄い板に打つと釘が突き抜けたり、木材の端に打つと釘がそれたりして、けがの原因になります。
- ⑯ 機体の反発に注意してください。
かたい所に打った場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。



警告

⑰ 壁の両側から同時に釘打ち作業をしないでください。
打った釘が突き抜けたり、壁ぎわの釘がそれたりして、けがの原因になります。

⑰



⑱ 無理な姿勢で作業をしないでください。

•常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

転倒して、けがの原因になります。

•高所作業のときは、釘打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。

けがの原因になります。

⑲ 屋外での作業は、次のことに注意してください。

⑲

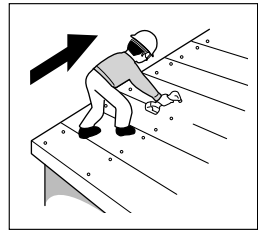
•屋根などの斜面で釘を打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。

後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。

•床などの水平面で釘を打つときは、前進しながら作業してください。

後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。

•壁などの垂直面に釘を打つときは、上から下へ作業してください。



⑳ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

•工具本体を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。

•常識を働かせてください。

•疲れているときは、使用しないでください。

㉑ 誤って落としたり、ぶつけたときは、必ず、蓄電池を取りはずして機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。

特に釘ガイドがスムーズに動くことを確認してください。

㉒ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。

動作不良、誤作動等をおこす原因になります。

㉓ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

そのまま使用すると、けがの原因になります。

㉓



警告

作業後

- ① コードレスばら釘打機は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率良く作業していただくため、コードレスばら釘打機は常に手入れをし、清潔に保ってください。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ② 使用しない場合は、きちんと保管してください。
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ③ 部品をはずしたり、改造をしないでください。
安全性が損なわれ、けがの原因になります。
- ④ コードレスばら釘打機の修理は、専門店で依頼してください。
修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。
- ⑤ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑥ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑦ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。

リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆に使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ.....

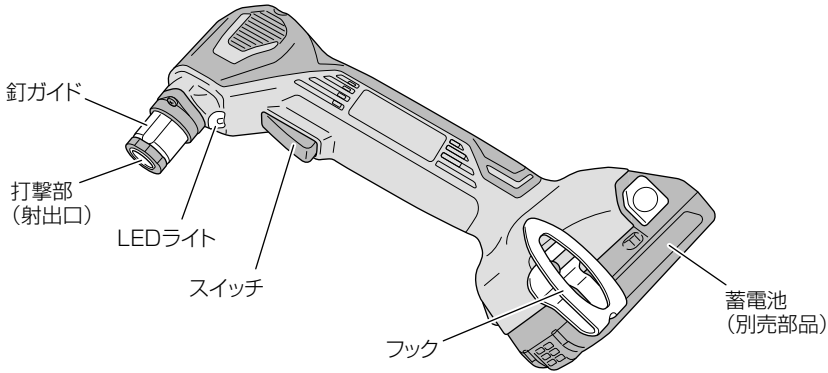
蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称



仕様

形名	NH 18DSL		
電圧	18 V		
打撃数	4,000 min ⁻¹ { 回 / 分 }		
使用可能釘	釘長さ	最小	25 mm
		最大	90 mm ^{*1}
	釘頭径	最小	φ4.0 mm
		最大	φ8.8 mm ^{*1}
釘胴径	最小	φ1.7 mm	
	最大	φ4.11 mm ^{*1}	
相手木材	構造材 (SPF材、杉)、合板		
一充電当たりの作業量 ^{*2}	約 500 本 (蓄電池 BSL 1830C 使用時 ^{*3})		
モーター	直流モーター		
工具本体寸法 全長 × 全高	285 × 135 mm (蓄電池 BSL 1830C 装着時 ^{*3})		
質量	0.9 kg (蓄電池含まず)		
LEDライト	白色 LED		

※1: 相手木材: SPF材、杉、樺、MDF、集成材等のかたい材料の場合、十分に打ち込めないことがあります。

※2: SPF材に N65 釘を打ち込んだ場合

作業量は周囲温度、蓄電池特性や、材料の種類・かたさ・密度・釘長さ・太さにより異なりますので、一応の目安としてください。

※3: 蓄電池は別売部品です。

標準付属品

保護メガネ (1 個)

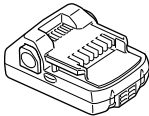


別売部品

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

蓄電池

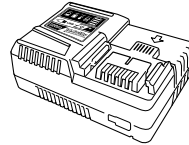
BSL 1830C (18 V)



充電器

〈14.4 V - 18 V 対応〉

UC 18YDL など各種

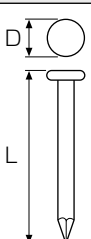


● 釘の選び方

本機は、次に示す市販釘、弊社ばら釘打機用釘が使用できます。

- 注**
- 右ページに示す市販釘および弊社ばら釘打機用釘以外は使用しないでください。釘が釘ガイドの中に入り込み、動作不良になったり、釘ガイドを傷めたり、斜めに打ち込まれたりすることがあります。
 - 市販の細径セメントコート釘や細径鉄丸釘 (FN 90 など) を使用すると釘が曲がったり、つまったりすることがあるので使用しないでください。細径釘は、専用の弊社ばら釘打機用釘 (P.14 「2. 弊社ばら釘打機用釘」 参照) を使用してください。
 - コンクリートや鋼板等への焼入釘やステンレス釘の打ち込みは、本機に悪影響を与えるので使用しないでください。
 - 打ち込み部材のかたさや釘の状態 (さび、表面処理など) によっては十分に打ち込めないことがあります。

1. 市販釘

釘形状	名称 (記号：JIS A5508)	L寸法 (mm)	D寸法 (mm)
	スムース 鉄丸釘 (N) 太め鉄丸釘 (CN) 細め鉄丸釘 (BN) 溶融亜鉛メッキ鉄丸釘 (ZN) (金物接合用釘)	25 ~ 90*	4 ~ 8.8*

※ 相手木材：SPF材、杉

桐、MDF、集成材等のかたい材料の場合、十分に打ち込めないことがあります。

注 釘頭の大きさに注意してください。市販の丸釘は、頭の大きい物や、小さい物が混入していることがあります。

2. 弊社ばら釘打機用釘 (細径・コート・高強度)

次に示す釘は鉄丸釘 (N 90 など) より軸径が細いため、木材が割れにくく、またコーティングを施しているため、木材に打ち込みやすく、抜けにくいという特長を持っています。

釘を曲がりやすくするため、高強度な材料を使用しています。

弊社ばら釘打機用釘は本機をお買い求めの販売店で求めください。

釘形状	名称	L寸法 (mm)	D寸法 (mm)	色
	スムース H 3490	90*	7.9*	黄

※ 相手木材：SPF材、杉

桐、MDF、集成材等のかたい材料の場合、十分に打ち込めないことがあります。

ご使用前の点検・準備

● 釘の準備と安全点検

用途に合った釘を準備してください。(P.13「釘の選び方」参照)
P.22「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

警告

- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 子供など作業員以外は近づけないでください。
- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に作動しない部品がないことを点検してください。

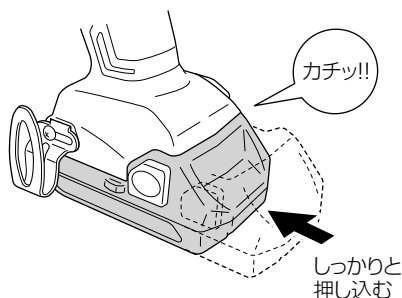
○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

蓄電池（別売部品）の取付け・取りはずし

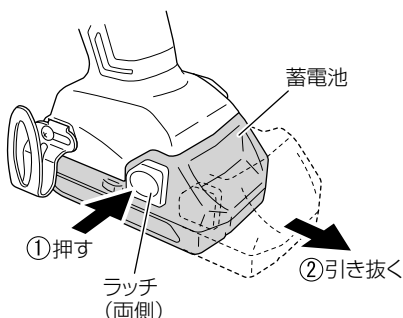
蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

取付けるとき



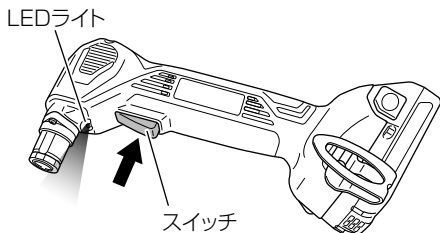
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



スイッチについて

スイッチを引くと同時にLEDライトが点灯します。



⚠️ 注意

LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

釘を打つ

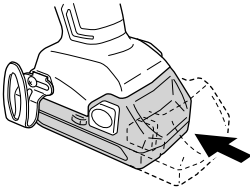
⚠ 警告

- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中は、周りの人の安全確保にも十分注意をはらってください。
- 人体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、蓄電池をはずしてください。

注 低温時に使用すると、機体の作動が悪くなる場合があります。

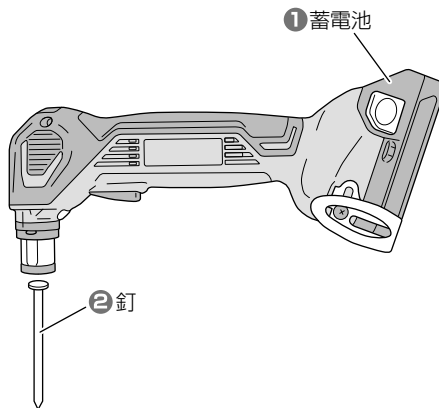
1 蓄電池を取付ける

下図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



2 釘を打つ

作業に応じた打ち方で、釘を打ち込みます。
(P.18「釘の打ち方」参照)



釘の打ち方

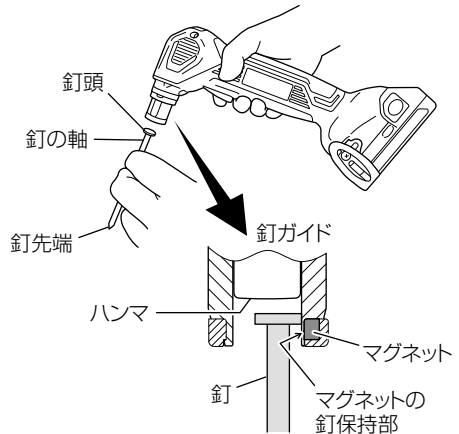
⚠ 警告

- 釘を釘ガイド内に装てんするときは、釘の先端を持たずに軸を持ってください。
- 一度打った釘の上に、釘を打つことはしないでください。
- 釘を打つときは、釘の先端を確実に打ち込み対象物に押し付けてください。
- 本機を金づち代わりに使用しないでください。

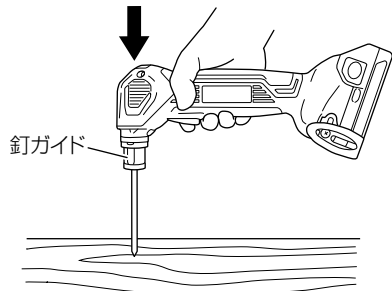
注 かたい場所（節など）や、釘の状態（さび、表面処理など）によっては、十分に打ち込めないことがあります。

● マグネットで釘を保持して打つ場合

- 1** 釘の軸を指で軽く持ち、釘頭を釘ガイド内にさし入れ、右図のようにマグネット付近の保持部に釘を吸着してください。



- 2** 釘の先端を打つ所に当て、本体を押し付けて、釘を打ち込んでください。



● 指で釘を保持して打つ場合

⚠ 警告

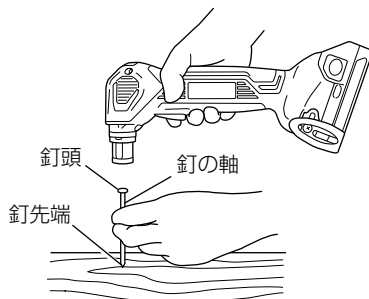
指で釘を保持して打ち込むとき、釘を打つ順序は、釘の先端を打ち込み対象物に当て、その後、釘ガイドの中に釘頭を入れてください。

⚠ 注意

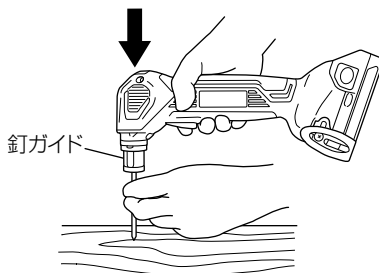
作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。

本機にはモーターがロックしないようにクラッチ機構が付いており、設定以上の打撃力は発生しません。無理に押さえ付けても作業の効率は上がりませんので、反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。

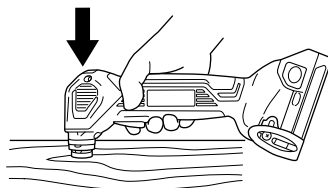
- 1 釘の軸を指で軽く持ち、釘の先端を打つ所に当てます。



- 2 釘ガイドの中に釘頭を入れて、釘がある程度打ち込まれ安定するまで本体を軽く押し付けます。



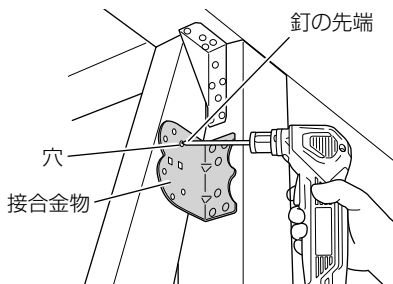
- 3 釘がある程度打ち込まれ安定したら釘から指をはなし、釘頭が面一になるまで本体を押し付けます。



●接合金物への釘止め作業

⚠警告

釘の先端が必ず接合金物の穴に入ったことを確認してから打ち込んでください。



作業上のご注意

注 作業はできるだけ短時間にしてください。また、連続作業は避けてください。

特に高負荷となりやすい作業(90 mm 釘打ち等)では、本体が高温となり、グリース漏れや故障の原因になります。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてから使用してください。

また、作業中に釘ガイドが熱くなる場合がありますので、注意してください。

●コードレス工具の保持と押し付け力について

コードレス工具は両手で確実に保持してください。コードレス工具を保持した際には、釘に対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、コードレス工具は必要以上に押し付ける必要はありません。

コードレス工具本体をこじる力や押し付ける力が過度にかけると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

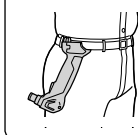
フックの使い方

フックは、作業の合間に腰のベルトなどにつり下げる機能を持っています。フックの取付け向きを替えるときは、次の手順で付け替えてください。

⚠ 警告

- フックを使用するときは、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

使用例

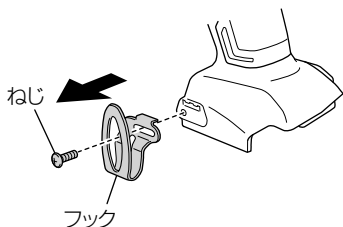


⚠ 注意

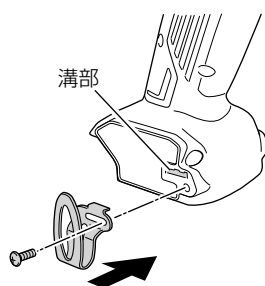
フックはしっかりと取付けてください。フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



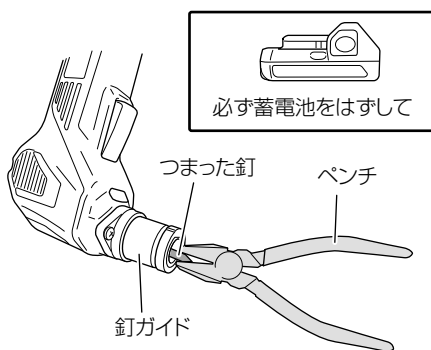
保守・点検

⚠警告

- 釘がつまったときは、蓄電池を工具本体からはずして使用を中断してください。
- 釘がつまった状態で機体を作動させないでください。
- 点検・手入れの際は、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●釘づまりの直し方

- ① 蓄電池を工具本体からはずします。
- ② 釘ガイド内につまった釘を、ペンチなどで取り除きます。
- ③ 釘ガイドがスムーズに上下動することを確認してください。
(下の「釘ガイドの点検」参照)

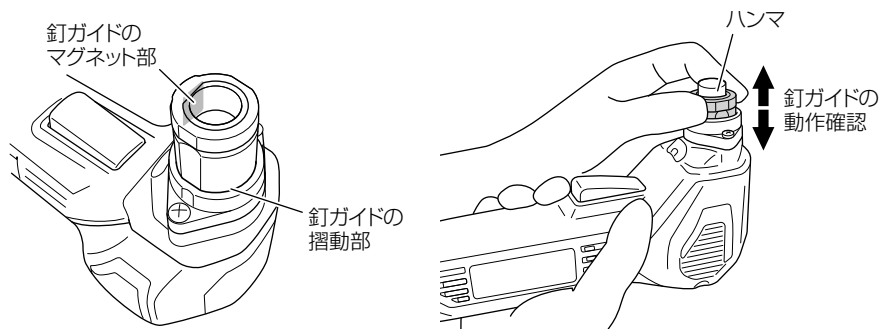


●釘ガイドの点検

釘ガイドの摺動部はときどき掃除してください。

釘ガイドの動作がスムーズであるかどうか確認してください。

釘ガイドのマグネットやハンマに鉄粉等が付着すると釘吸着力が低下しますので、ときどき布や粘着テープなどで取り除いてください。



● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 製品や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未滿で乾燥した安全な場所に保管してください。

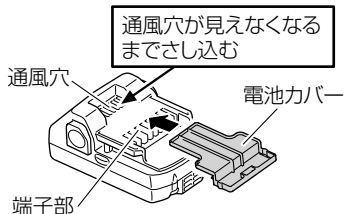
- 注**
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>